

1999年（第10回）福岡アジア文化賞

大 賞

ホウ シャオシェン
侯 孝 賢
(HOU Hsiao Hsien)

映画監督

1947年4月8日生(52歳)
台湾

略 歴

- 1947 広東省梅県に生まれる
1歳のときに家族とともに台湾に移住
- 1972 芸術学院映画演劇科（台北）を卒業
- 1973 映画界に入る。『心有千千結』（李行監督作品）で初めてスクリーンライターを務める
- 1975 『雲深不知処』（徐進良監督作品）で初めて助監督を務める
『桃花女闘周公』（頼成英監督作品）で初めて脚本を書く
- 1980 『ステキな彼女』で監督デビュー
- 1982 『川の流れては草は青々』が金馬奨作品賞・監督賞にノミネート
- 1983 『少年』（脚本作品）金馬奨最優秀脚本賞
『坊やの人形』マンハイム映画祭優秀作品賞
『嫁ぐ日』（脚本作品）金馬奨最優秀脚本賞
- 1984 『風櫃の少年』ナント三大陸映画祭グランプリ
『冬冬の夏休み』金馬奨最優秀脚本賞
- 1985 『冬冬の夏休み』アジア太平洋映画祭最優秀監督賞、ロカルノ映画祭スペシャル・メンション、ナント三大陸映画祭グランプリ・国際批評家連盟賞
- 1986 『童年往事一時の流れ』ベルリン映画祭国際批評家連盟賞、アジア太平洋映画祭審査員特別賞、ハワイ映画祭審査員賞
- 1987 『童年往事一時の流れ』ロッテルダム映画祭非欧米作品最優秀賞
『恋恋風塵』ナント三大陸映画祭最優秀監督賞
『ナイルの娘』トリノ映画祭審査員特別賞
- 1989 『悲情城市』ヴェネチア映画祭グランプリ、金馬奨最優秀監督賞
- 1993 『戯夢人生』カンヌ映画祭審査員賞
- 1995 『好男好女』ハワイ映画祭最優秀作品賞、金馬奨最優秀監督賞
- 1996 『好男好女』シンガポール映画祭特別功労賞・国際批評家賞、アジア太平洋映画祭最優秀監督賞、長春映画祭グランプリ・最優秀監督賞
『憂鬱な楽園』金馬奨最優秀音楽賞
- 1998 『フラワーズ・オブ・シャンハイ』アジア太平洋映画祭最優秀監督賞、金馬奨審査員大賞、ケララ映画祭グランプリ

主な監督作品

『ステキな彼女』（1980） 『風が踊る』（1981） 『川の流れては草は青々』（1982）
『坊やの人形』（1983） 『風櫃の少年』（1983） 『冬冬の夏休み』（1984）
『童年往事一時の流れ』（1985） 『恋恋風塵』（1987） 『ナイルの娘』（1987）
『悲情城市』（1989） 『戯夢人生』（1993） 『好男好女』（1995） 『憂鬱な楽園』（1996）
『フラワーズ・オブ・シャンハイ』（1998）

その他、スクリーンライター2作品、助監督15作品、脚本18作品、製作3作品。また、2作品に主演として出演。